

敦賀発電所の敷地内破碎帯の評価に関する 事実関係について（その5）

<田中原子力規制委員長の発言に関する検証>

1. 原子力規制委員会の田中委員長は、平成27年4月7日の国会において、「・・・日本原電より63の問題点の公開がされたということは事実であります。原子力規制庁に対しても申し入れがありまして、3月5日に面談の場で説明を行っております。」^{注1}と発言していますが、これは事実全く反します。

【平成27年3月5日に当社が行った申し入れ内容^{注2}】

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1.2. 当社の指摘した「63の問題点」について<ul style="list-style-type: none">・各項目の事実関係の正否等についてのご見解を文書でいただきたいこと。3. |
|--|

当社から指摘した「63の問題点」については、原子力規制庁からは、部内で検討したい旨の回答をいただいただけであり、何らの説明も受けていません。

2. また、当社からの意見、疑問等に対しては、「・・・事業者が公表した指摘の全てに答えるといったようなことは行っておりません。」^{注1}、「・・・一つ一つ事業者の質問、そういった指摘に答えるということはいたしません。」^{注1}と発言しておりますが、これは、公権力の行使に携わる原子力規制委員会として取るべき姿勢ではありません。また、これは、原子力規制委員会自らの組織理念である「意思決定のプロセスを含め、規制にかかわる情報の開示を徹底する。」にも全く反するものです。

当社は、これまで、有識者会合の議論や評価書案等に対して、別表のとおり計23回、質問や指摘等をしてきましたが、一度も規制委、規制庁から回答していただいたことはありません。

注1：平成27年4月7日の国会中継を視聴し、当社が文字起こしを行ったもの。

注2：原子力規制庁への申し入れについて (<http://www.japc.co.jp/news/press/2014/pdf/270305.pdf>)

以 上

【原子力規制委員会及び原子力規制庁への公開質問状、申し入れ等提出実績】

提出日	件名
平成24年12月11日	敦賀発電所敷地内の破砕帯調査に関する原子力規制委員会への質問状の提出について
平成25年 3月11日	敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合第3回評価会合に対する当社要請文書の原子力規制委員会への提出について
5月22日	原子力規制委員会への公開質問状の提出について
7月10日	原子力規制委員会への「公開質問状」に対する回答のお願い文書の提出について
8月 2日	原子力規制委員会への「質問状」に対する回答の お願い文書の提出について
9月13日	「(専門家のコメント) 「第四紀テフラ(火山砕屑物) 研究の第一人者: 首都大学東京 鈴木毅彦教授」からのメール(抜粋)」に関する情報開示請求の結果について(原子力規制庁に対する申し入れ)
9月30日	原子力規制庁に対する敦賀発電所敷地内破砕帯調査に係る今後の審議等に関するお願いについて
11月13日	敦賀発電所敷地内破砕帯に係る審議の進め方についての当社からのお願いの提出について
11月22日	原子力規制庁に対する敦賀発電所敷地内破砕帯調査に係る今後の審議等に関するお願いについて
11月25日	原子力規制委員会に対する請願書の提出について
平成26年 3月 6日	原子力規制庁に対する敦賀発電所敷地内破砕帯調査に係る今後の審議等に関するお願いについて
3月27日	敦賀発電所敷地内破砕帯調査に係る今後の審議等に関する原子力規制庁に対する申し入れについて
6月24日	原子力規制委員会への要請書の提出について
6月25日	原子力規制委員会への「公開質問状」の提出について
7月23日	6月16日の「面談記録」に関する調査のお願いについて
7月23日	原子力規制委員会に対する申し入れについて
8月21日	原子力規制庁 地域原子力規制総括調整官に対する申し入れについて
9月 9日	原子力規制庁に対する申し入れについて
11月14日	敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する追加調査評価会合の今後の進め方に係る原子力規制庁への申し入れについて
12月 5日	原子力規制委員会への申し入れについて
12月 9日	原子力規制庁への申し入れ
平成27年 3月 5日	原子力規制庁への申し入れについて
3月24日	原子力規制委員会への申し入れについて